

利根沼田保健医療対策協議会及び同協議会病院等機能部会の 開催結果について（令和7年10月29日開催）

1 次 第 別紙のとおり

2 出席者 別紙のとおり

3 議 題

(1) 前回の保健医療対策協議会における主な意見について

(2) 沼田病院の医療機能を引き継ぐとした場合の今後の方向性について

(3) 国立病院機構からの報告

4 結果概要

(1) 前回（8月7日）の協議会において、出席者から出された意見や要望等について、改めて確認した。

(2) 前回の協議会を受け、沼田病院が現在担っている医療機能（救急、災害医療、感染症、へき地医療、がん、予防接種等）のうち「感染症」と「へき地医療」について、利根沼田圏域内の全ての病院に対し、将来に向け、機能を担う意向の有無をアンケートした。

今回の協議会では、各病院からの回答を共有し、今後の方向性について協議した結果、機能を担う意向があった病院と、今後、個別に調整を進めていくこととなった。

あわせて、アンケート対象以外の医療機能（救急、災害、がん、予防接種等）についても今後の方向性を協議した結果、圏域内の各病院が機能を担っていくことで調整を進めることとなった。

(3) 国立病院機構本部及び沼田病院から、前回協議会開催後の患者数の推移や院内職員の状況などの報告があった。

前回の協議会開催以降も、患者数は依然として減少したままであることや、職員からも先行きを不安に思う声も出てきている等、病院経営は一層厳しい状況との説明があった。

(4) こうした状況を踏まえ、地域の医療提供体制を維持するために、引き継げる医療機能は速やかに引き継いでいくという観点から、必要となる支援策などの意見を次回の協議会で取りまとめ、国立病院機構本部や国・県に求めていくこととなった。また、県としても、必要な支援策を検討することとなった。

(参考) 今回の協議会における主な意見

- ・へき地医療など心配されていたことの対応が進められている。（病院のあり方について）そろそろ結論を出していくことも必要ではないか。
- ・仮に病院が廃止となった場合でも、地域の他の病院が（跡地を）利用することができれば、地域にとってもよいことである。地域住民が安心できるような体制を整えてもらいたい。
- ・機構や国、県に対して地域としての意見を出していったらどうか。

利根沼田地域保健医療対策協議会及び同協議会病院等機能部会 次第

1. 日 時 令和7年10月29日（水） 18時30分～

2. 場 所 群馬県利根沼田振興局庁舎 101会議室

3. 議題

- (1) 前回の医対協における主な意見について
- (2) 沼田病院の医療機能を引き継ぐとした場合の今後の方向性について
- (3) 国立病院機構からの報告

4. 配布資料

資料1：前回の医対協における主な意見

資料2：沼田病院の医療機能を引き継ぐとした場合の今後の方向性

資料3：国立病院機構からの報告（沼田病院の状況）について

**利根沼田地域保健医療対策協議会及び同協議会病院等機能部会
委員名簿**

役職名	委員名	出欠
沼田市長	星野 稔	出席
片品村長	梅澤 志洋	出席
川場村長	外山 京太郎	出席
昭和村長	高橋 幸一郎	出席
みなかみ町長	阿部 賢一	出席
沼田利根医師会 会長	林 秀彦	出席
沼田利根医師会 副会長	石田 智之	出席
沼田利根医師会 副会長	森平 和明	出席
沼田利根歯科医師会 会長	鈴木 克也	出席
沼田利根薬剤師会 会長	間宮 実	出席
沼田病院 院長	小川 哲史	出席
利根中央病院 院長	関原 正夫	出席
沼田脳神経外科循環器科病院 院長	森下 篤	出席
医療法人大誠会 理事長（内田病院）	田中 志子	出席
群馬パース病院 院長	國元 文生	出席
医療法人パテラ会 理事長（月夜野病院）	櫻井 明	出席
上牧温泉病院 院長	丸山 秀樹	代理出席 (岡田副院長)
全国健康保険協会群馬支部 業務部長	田邊 剛一	出席
利根沼田広域消防本部 消防長	関 和弘	出席
県看護協会 沼田地区支部長	古市 清美	出席
利根沼田広域市町村圏振興整備組合 事務局長	鶴淵 佳秀	出席

委員以外の出席者

所属及び役職名	氏 名
独立行政法人国立病院機構本部企画部長	田中 義高
独立行政法人国立病院機構本部医療部長	福田 亮介
独立行政法人国立病院機構関東信越グループ総括長	田村 敦宏
厚生労働省医政局医療経営支援課医療独立行政法人支援室長	荒木 正昭
群馬県健康福祉部長	國代 尚章